

分野：②

「上谷沼たんけん」

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 3年
(107名のうち36人)
残りの1クラスの授業

所要時間  10:50~12:00

場所 上谷沼調節池

実施時期 令和2年10月13日

概要

上谷沼ビンゴで自然の中での生き物の見つけ方を知り、草原でバッタを中心に捕まえて、生き物に触れるとともに、バッタの役割の説明を聞いて上谷沼の自然の理解への一歩とする。

プログラムの
ねらい

上谷沼に生息するバッタを追いかけて捕まえ、生き物にふれ、食物連鎖と生命の大切さに気付かせる。

プログラムの内容

1 上谷沼ビンゴ (20分)

ビンゴの課題を草原を観察しながら解いていかせた。

2 虫探し (40分)

虫の扱い方、虫かごへの入れ方をレクチャーし、虫探しを開始した。アドバイザーとスタッフは児童の行動を見守り、安全を確認したり、虫の名まえを教えた。

休憩して集合したあと、まとめを行った。

バッタの役割を考えさせ、草原での生物の食べる食べられるのつながりを説明し、また、命の大切さをレクチャーした。

3 ドングリ拾い (10分)

調節池入り口の林に、豊富にできたドングリを拾った。

受講者の反応

ほとんどの児童が積極的に虫を追いかけて、虫に触れ、上谷沼の自然に興味関心をもつことができた。保護者の協力もよく、生き物の命について、ともに考える時間になったと言われた。短時間だったがドングリの林にも感心を持ってくれた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



バッタ以外に何かとれましたか？

分野：②

「上谷沼たんけん」

環境アドバイザー

藍沢 司

対象 川口市立芝西小学校 3年(36人)
残りの1クラスの授業

所要時間 10:50~12:00

場所 上谷沼調節池

実施時期 令和2年10月13日

概要

上谷沼ビンゴゲームで生物観察への関心を高めさせ、実際に草原でバッタを中心に追いかけて、捕まえる。草原の中でのバッタの役割を考え、食物で上谷沼の生物がつながっていることを学習する。

プログラムの
ねらい

上谷沼でバッタを中心に生き物を探したり捕まえさせたりすることによって、自然に直接触れ、生き物どうしが食べる食べられる関係でつながっていることや、命の大切さを確かめさせる。

プログラムの内容

1 上谷沼ビンゴ (20分)

草原で観察することによって解ける問題をビンゴ形式で並べ、児童各自にビンゴを完成させ、自然への関心をもたせた。

2 虫さがし (40分)

虫の扱い方、かごへの入れ方などの説明後、虫探しを開始。アドバイザー、スタッフは補助にまわり、バッタの名まえを教えたりした。

その後、休憩のあと、まとめとして、バッタの役割から、植物や鳥と食べる食べられるつながりがあること、捉えたバッタも貴重な命であることを実感させた。

3 どんぐり拾い (10分)

調節池入り口の林で、今年大量に実ったどんぐりを拾った。

受講者の反応

自然の中でおもいきり虫をおいかける男子や、バッタやコオロギをじっと観察する女子の姿を見ることができた。

命の尊さの話のあとで、児童の何人かの反応が、「バッタをにがしいですか。」という内容であったので、授業の目的が伝わったと感じた。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



虫かごにはこうやって入れるよ。

ここにいたぞ。



お母さんにまかせなさい。

このような鳥がバッタを食べるんだよ。

